

プロスポーツ等との連携と スポーツ交流による地域活性化について

政策・土木交通常任委員会資料4
平成27年(2015年)6月10日(水)
総合政策部企画調整課

1 県における位置づけおよび取組

(1) 「滋賀県基本構想」(平成27年3月策定)での位置づけ

第1章 長期ビジョン編

第3 基本理念と5つの目指す姿

2 5つの目指す姿

(2) 「地域の活力」

⑧ 誰もが日常的に文化・スポーツに親しみ、交流を深め、地域が創造的な活力に満ちています。

第2章 重点政策編

6 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造

- すべての県民が日常的にスポーツを「する」、「みる」、「支える」ことができるよう、地域における運動・スポーツ活動を充実させるとともに、スポーツ環境の充実やプロスポーツチームとの連携を推進し、地域の活力を向上させます。

(2) 「新しい滋賀の魅力をつくる文化・スポーツ戦略」(平成27年3月策定)での位置づけ

戦略1 東京オリンピック・パラリンピックで元気な滋賀づくり

2 滋賀ゆかりのトップアスリート等と県民との交流機会の創出

- 滋賀ゆかりのオリンピック・パラリンピアンや本県を本拠地とするプロスポーツチームなどのトップアスリートを「しがスポーツ大使」に任命し、地域の運動会や子どもスポーツ体験教室等で県民と交流する機会を創出するとともに、滋賀のスポーツの魅力発信を進めます。

戦略3 県民が元気になるスポーツ振興と国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催

1 競技力向上と世界で活躍する滋賀のトップアスリートの育成

- 「しがスポーツの子」として、本県を拠点として活躍する「滋賀レイクスターズ」(バスケット)や「MIOびわこ滋賀」(サッカー)、「東レアローズ」(バレー)といったスポーツチームによるトップレベルの試合を、子どもたちが観戦する機会を創出します。

6 プロスポーツ等との連携とスポーツ交流による地域活性化

- 本県におけるトップレベルのスポーツの「みる」機会を充実することにより、県内外から多くの観戦客を惹きつけ、地域活性化を図るため、スポーツチームへの効果的な支援を行うとともに、Jリーグ参入の可能性を検討します。

(3) 今年度取組予定の県事業

- しがスポーツ大使
- しがスポーツの子
- スポーツ情報総合発信サイト「(仮称) しがスポーツナビ!」の構築・運営
- その他(県広報誌での掲載、人権啓発活動での連携等)

2 滋賀レイクスターズとの連携について

(1) 新リーグ設立等の背景および経過

- 男子2リーグ併存状態の解消等が進まないことから国際試合に出場できなくなった日本バスケットボール界において、男子2リーグの統合等の改革に向けて、平成27年1月に国際バスケットボール連盟(FIBA)がタスクフォースを設置し、平成27年6月までに改革方針をまとめることとされた。

月日	経過	月日	経過
3/4(水)	新リーグ参加基準決定	4/30(水)	新リーグ入会申込期限 審査書類提出期限
3/17(火)	川淵氏、知事、草津市長訪問		
3/25(水)	新リーグ3階層の基準決定	6/2(火)	新リーグ入会チーム決定 入会申込47 入会決定43、入会保留4
4/1(水)	新リーグ運営法人設立 (理事長 川淵三郎)		
4/3(金)	入会申込受付開始 →滋賀レイクスターズ 入会申込	(6月末)	自治体支援文書提出リミット)
		7月末	所属リーグ(3階層のチーム)決定

(2) 新リーグの概要

- 新リーグは3層構造(1部、2部、3部)
- 2016年(平成28年)10月開幕

【主な入会基準】

- ホームアリーナおよび練習場を確保していること。
- 健全運営できる財務体質であり、人事組織、ガバナンス体制が確立されていること。

【トップリーグ(1部・2部)の主な要件】

- ホームタウンの地方自治体の文書での支援表明が得られること。
- ホームアリーナについて次の要件を満たしていること。
 - ・ 年間試合数8割程度のホームゲームを開催できるホームアリーナを確保していること。
(今後完成予定のアリーナをホームとする場合は、その計画を具体的に提示することとし、今回の1部・2部決定においては、2018年シーズン開始(平成30年秋)までに着工予定のアリーナのみを考慮)
 - ・ 収容人数について、1部は5,000人、2部は3,000人を目標とする。
 - ・ 交通の利便、ファンの集まりやすい立地であることが望ましい。

◇ 県は、ホームタウンとして、自治体支援文書の提出を求められており、その対応を検討していく。